



平成16年3月24日

各位

会社名 株式会社メディビック
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 太田雅敏
(Tel: 03 - 5510 - 2407)

合併会社設立に関するお知らせ

当社は、平成16年3月24日開催の取締役会において、株式会社ラボ(本社:札幌市北区、代表取締役 杉田一憲 以下「ラボ」という。)との合併会社の設立に関し下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 合併会社設立の理由及び業務内容

近年、遺伝子治療や細胞治療、再生医療関係の研究、臨床応用が多くの医療研究機関で活発化し、大きな期待を集めております。しかしながら、再生医療が健全に発展するためには、薬事法に基づく医薬品の臨床試験と同様に、再生医療に用いる幹細胞の分離、体外培養、細胞調製など、細胞を扱う一連の作業の安全性と品質が高いレベルで保証されなければなりません。医薬品製造の品質管理要件の基準であるGMP(Good Manufacturing Practice)に準拠した、細胞調製施設(CPC=Cell Processing Center)の設置が全国の医療施設で多く望まれております。

このような環境を踏まえ、当社はこのたび市場のニーズに対応するため、当社企業集団のさらなる事業拡大を目的にラボとの合併会社である株式会社アドバンスト・メディカル・ゲートウェイ(以下「アドバンスト・メディカル・ゲートウェイ」という。)を設立いたします。

アドバンスト・メディカル・ゲートウェイは当社のコア・コンピタンスであるゲノム創薬技術及び先端医療技術分野に専門特化したコンサルティング能力とインフォマティクス技術並びにラボによる特殊研究施設の設備設計技術や機器導入のノウハウを活用して事業を展開してゆきます。

アドバンスト・メディカル・ゲートウェイの業務内容は、当社によるソフト面での技術とラボによるハード面での技術を統合させて国内の医療機関に対する先端医療技術の応用

に必要な支援サービスを提供することであります。

具体的には、遺伝子治療、細胞治療、再生医療のための設備を開設または運営開始しようとする医療機関や企業に対して、施設設計、機器選択・調達、設置バリデーション、クリーン処理、運用体制および基準の確立、運營業務支援などを含む、施設立ち上げから運営までのトータル・コーディネーション・サービスの提供を行っていく事を計画しております。

2. 合併会社の概要

商号	株式会社アドバンスト・メディカル・ゲートウェイ
代表者	代表取締役社長 榊 昭雄（株式会社ラボ取締役）
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
設立予定年月日	平成16年4月5日
主な事業の内容	遺伝子治療、細胞治療、再生医療のための施設開設及び事業運営の支援及び関連するサービスの提供
決算期	3月31日
資本の額	10,000千円
大株主構成および所有割合	株式会社メディビック50%,株式会社ラボ50%

3. 株式会社ラボの概要

所在地	札幌市北区北二十七条西六丁目2番12号
設立	昭和56年7月
代表者	代表取締役社長 杉田 一憲
主な事業の内容	医療、理化学、バイオテクノロジー関係の機材、試薬等の輸入及び国内販売、研究開発（DNAアレイ受託サービス）
資本の額	30,000千円
売上高	2,653,253千円（平成15年6月期）
従業員	42名

4. 今後の見通し

アドバンスト・メディカル・ゲートウェイ設立による平成16年12月期（平成16年1月1日～平成16年12月31日）の当社業績見通しに与える影響は現段階では未定ですので、現時点での業績の修正などはございません。

以上

【参考】

細胞調製施設（CPC = Cell Processing Center）

= GMP に準拠した治療のためのクリニカル・プロダクトを製造する特殊な施設。